

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先)	京 都 市 長	平成 25年 7月24日
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地	報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) オムロン株式会社 代表取締役社長 山田 義仁	
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004(JIS Q14001:2004)	
適用範囲	オムロン株式会社 京都事業所	
導入年月日	2001年 4月 3日	
認証番号	2969638-2899149	
基本方針	オムロングループの社憲・企業理念に基づき、国際社会の一員としてCSRを深く意識し、社会にとって有用な商品を提供することを、最小限のヒト・モノ・カネ・エネルギーなどの経営資源で実現するため、G-EMSの環境方針を定め環境に配慮したグローバル事業活動を推進する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	2012年度目標 ■省エネルギー(CO2排出量削減) 2010年度実績比 3.0%削減 ■資源循環(廃棄物発生量削減) 2011年度実績値未達	
目標を達成するための取組の内容	■省エネルギー(CO2排出量削減) ・省エネ対策実施に伴う空調制御・CGSの最適化運転・館内照明間引き・トイレ便座、ウォレットのヒータ停止・夜間外灯消灯・自販機を省エネタイプに入れ替え ■資源循環(廃棄物発生量削減) ・排出内容の随時チェック・持込ゴミの持ち帰り・分別廃棄の徹底	
目標を達成するための取組の進捗状況	■省エネルギー(CO2排出量削減) 2010年度実績比 93.6% ■資源循環(廃棄物発生量削減) 2011年度実績比 89.0%	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	■省エネルギー(CO2排出量削減) 2010年度実績比 93.6% ■資源循環(廃棄物発生量削減) 2011年度実績比 89.0%	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規の最新化および順守状況については、環境事務局が中心となり毎月確認を行っている。 またこれまで違反および行政からの指摘は受けていない。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001の要求事項に従い、毎年1月にマネジメントレビューを実施し、EMSの評価および見直しを実施している。2011年度は外部審査を受審し、環境影響評価方法について一部指摘を受けたため、2012年度から手順を見直すこととした。環境側面の定常時、非定常時、緊急時の環境影響評価を明確化	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。